

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	上部尿路結石症に対する経尿道的尿路結石碎石術(TUL)における周術期合併症と術後尿管狭窄症に関する全国調査内容の詳細			
2. 対象患者	2017年4月1日から2020年3月31日の3年間で当科TUL施行した患者様			
3. 対象となる期間	2017年4月1日 ~ 2020年3月31日			
4. 実施診療科等	泌尿器科			
5. 研究責任者	氏名	小島由太	所属	泌尿器科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	神戸大学大学院 医学研究科 外科系講座 腎泌尿器科学分野 教授 藤澤 正人			
7. 研究の意義	上部尿路結石症疾患に対する経尿道的尿路結石碎石術の日本の現状を明らかにします			
8. 研究の目的	上部尿路結石症は、本邦において男性7人に1人、女性15人に1人が罹患する比較的頻度が高い疾患で、5年で45%が再発します。1度罹患すると生涯に渡って複数回の治療を受ける可能性があります。一方でその治療には自然排石、薬剤促進療法、体外衝撃波(Extracorporeal Shock Wave Lithotomy; ESWL)、経尿道的尿路結石碎石術(Transurethral Ureteral Lithotomy; TUL)、経皮的腎碎石術(Percutaneous nephrolithotomy; PNL)、開腹・腹腔鏡下尿管腎切石術と多くの治療選択肢があります。本邦においては近年TULが増加しています。TULは、良い手術術式ではありますが、各施設独自のやり方で手術を行っています。そのため手術合併症の種類、頻度も変化してきていると考えられます。本研究で、上部尿路結石症疾患に対する経尿道的尿路結石碎石術における周術期合併症の頻度を明らかにします			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	<ul style="list-style-type: none"> ・患者背景:性別、年齢、身長、体重 ・画像検査の結果:手術前水腎症の有無、手術前尿管ステント留置の有無、尿路結石部位、結石サイズ(最大長径)、結石の硬さ(CT値:HU)、尿管狭窄症に対する治療方法 ・入院期間日数 ・尿管ステント抜去時期 ・術後経過観察時期 上記を神戸大学より提供いただいた電子媒体に保存し、送付します。			
10. 個人情報の保護	プライバシーの保護に配慮するため、患者様の試料や情報は直ちに識別することができないよう、対応表を作成して管理します。収集された情報や記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、神戸大学大学院医学研究科外科系講座腎泌尿器科学分野研究室の鍵のかかる保管庫に保管します。			
11. 利益相反に関する状況	なし			
12. 連絡先	弘前大学泌尿器科 中村穂波			
	電話	0172-39-5091	FAX	0172-39-5092